

## 令和4年度 小学校プログラミング研修〔2班〕 実施要項

2421

- 1 目的 プログラミング教育の意義を理解するとともに、各種アプリケーションソフトを用いた体験やアンプラグドの学習活動を通して、各教科等での学びを確かなものとする指導方法の習得をめざす。また、授業実践を通して、プログラミング教育に対する見聞を深める。
- 2 対象 小学校、義務教育学校、府立支援学校小学部の教員
- 募集人数 20名

## 3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	オンデマンド開催 6月7日(火) ～ 7月19日(火) 提出締切: 8月16日(火)	プログラミング教育の目的 〔講義〕	大阪府教育センター 指導主事等
	8月3日(水) 14:00～17:00	プログラミングの基礎と 教科における活用 〔講義・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等
3	リアルタイム開催 1月24日(火) 14:00～17:00 提出締切: 2月21日(火)	プログラミング教育の授業実践報告会 〔協議〕	大阪府教育センター 指導主事等

## 4 会場 第1、3回 所属校等

## 第2回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

## 5 担当室 企画室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
  - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
  - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
  - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
  - (5) Web 開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

一括募集1

## 令和4年度 小学校プログラミング研修〔2班〕 シラバス

2421

## 1 目的

プログラミング教育の意義を理解するとともに、各種アプリケーションソフトを用いた体験やアンプラグドの学習活動を通して、各教科等での学びを確かなものとする指導方法の習得をめざす。また、授業実践を通して、プログラミング教育に対する見聞を深める。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期															
第1期	○									○	○	○			
第0期															

## 3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	プログラミング教育の目的	小学校段階における「プログラミング的思考を育む」プログラミング教育とその目的について理解する。	学習指導要領についての講義を通して、情報活用能力の育成とプログラミング学習の意義について、基本的な知識を習得する。	
2	プログラミングの基礎と教科における活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムの基本的な考え方を学ぶとともに、コンピュータの特性について理解する。</li> <li>・プログラミングを利用した教科における活動について、展望を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを使わないアンプラグドの学習活動や、アプリケーションソフトを利用したプログラミングを体験し、コンピュータによる処理の特性を知る。</li> <li>・「コンピュータに関わる情報活用能力を育むカリキュラム【例】」に掲載している教材や各種アプリケーションソフトを用いたプログラミング体験を通して、実際の授業における活用方法について考える。</li> </ul>	<b>事前課題</b> 「小学校におけるプログラミング教育」(府作成リーフレット)及び「コンピュータに関わる情報活用能力を育むカリキュラム【例】」(府作成)を読んでおく。 ⇒ <a href="#">ダウンロード</a>
3	プログラミング教育の授業実践報告会	授業実践を省察し、次年度に向けての具体的な取組みについて展望を持つ。	班別協議を通して、指導法や授業展開、評価方法等について考える。	<b>準備物</b> 授業実践報告書